



創造性が都市を変える 横浜クリエイティブシティ国際会議2009

2009年9月、創造都市の新たな方向性と戦略を議論する国際会議を開催します。市民の創造性が人の心を動かし、まちを変える——というコンセプトのもと、新たな都市づくりに向けて、国内外の都市から多様な担い手が横浜に集います。

開催目的

- ◎……………横浜市のこれまでの5か年にわたる創造都市の取組と、国内外諸都市の取組課題を踏まえて、創造都市の次の方向性、戦略を検討します。
- ◎……………国内外の市民、NPO、大学、行政など多様な創造の担い手による人材育成、まちづくり、経済の活性化をはかるネットワークの形成を図ります。



Photograph by MORI Inoue ©

会議概要 General outlines of the Conference

日程 2009年9月4日[金]～9月6日[日]
会場 関内ホール | 横浜市開港記念会館
ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター
主催 横浜クリエイティブシティ国際会議2009 実行委員会
横浜市
公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
創造都市横浜推進協議会
共催 プリティッシュ・カウンシル
後援 文化庁 | 神奈川県
NHK横浜放送局 | 神奈川新聞社 | 企業メセナ協議会
国際交流基金 | tvk(テレビ神奈川)
東京藝術大学 | 東京大学大学院新領域創成科学研究科
横浜国立大学 | 横浜市立大学 | 横浜商工会議所

関連企画

事業名	開催日時 会場
会議開催記念企画 藝大フィルハーモニア・コンサート	日時：9月3日[木] 18:30開演 会場：横浜みなとみらいホール・大ホール 主催：東京藝術大学 横浜市
生まれ!アートイニシアティブ part2 国内外NPOによる会議及び活動紹介	日時：9月4日[金] 午前 9月5日[土] 19:00～深夜 会場：BankART Studio NYK
開内外OPEN! 横浜都心部のクリエイター・アーティストの制作場所を公開。講座、ツアーもあり。	日時：9月4日[金]～6日[日] 主催：ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター
マザーボート・アート・フェスティバル2009 マザーボートエリアを中心に「街」全体で展開されるアートイベント	◎アーバンオペラYOKOHAMA [8/8 8/15] ◎ラ・ベル・ザンカ「月夜、そして能の息吹」[8/29～8/30] ◎「都市の記憶in日本大通り」ホッチポッチミュージックフェスティバル [9/5 9/13 9/26 9/27] ◎JAZZ meets JAPANジャズと邦楽の出会い [9/13] 主催：マザーボート・アート・フェスティバル実行委員会
ストリートワイズ・オペラ ホームレスを対象とした音楽事業を行っているイギリスの公益団体によるワークショップおよび映像展示 市内創造界隈拠点を中心に、横浜都心部で展開されるアート・プロジェクト	◎ワークショップ [9/2 9/3 寿町エリアなど] 主催：プリティッシュ・カウンシル コトラボ合同会社 ◎映像展示 [9/5～9/9 赤レンガ倉庫1号館 3Fホール] 主催：マザーボート・アート・フェスティバル実行委員会 プリティッシュ・カウンシル ◎黄金町バザール2009 [9/1～9/27 黄金町エリア] マーガレット・シュー講演会 [9/2] ◎ZAIMギャラリー [9/2～9/13 9/16～9/27 ZAIM] ◎MIRRORBOWLING [9/3～9/29 創造空間9001] ◎演劇公演「Zoo Zoo Scene〈ずうずうしい〉」 [9/25～9/27 急な坂スタジオ / 野毛山動物園]
日仏都市文化対話会議	日時：9月3日[木] 10:00～17:00 会場：ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター 主催：横浜市 リヨン市 ◎リヨンのアーティスト・ライブ The Dynamics 他 [9/4 20:00～]
文化庁 文化芸術創造都市ネットワーク会議	日時：9月5日[土] 18:50～20:50 会場：ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター 主催：文化庁 NPO法人 都市文化創造機構

関連事業に関するお問い合わせ・お申込は、会議公式サイト[www.yaf.or.jp/creativecity/ccic/]をご覧ください。

参加申し込み方法

お申込方法

「横浜クリエイティブシティ国際会議2009」に参加をご希望される方は、本会議公式サイト(www.yaf.or.jp/creativecity/ccic/)のオンライン申込フォームに必要事項をご記入の上、下記参加申込事務局にお申込ください。各プログラムは先着順で締切りとなります。オンライン申込が利用できない場合には、FAX申込フォーム(下記参加申込事務局にお問い合わせください)にご記入いただき、FAXまたは、E-mail添付で参加申込事務局までお送りください。参加費のお振込が確認でき次第、事務局から参加証をお送りいたします。

参加費	種別	料金
	一般	3,000円
	学生 [学生証を当日受付にご提示ください。]	2,500円
	参加者交流会 [9月4日夜]	2,000円

※お振込後の返金には応じかねます。

無料聴講プログラム*

- ①……………9月4日[金]「基調講演」および「パネルディスカッション1」
 - ②……………9月6日[日]「パネルディスカッション2」および「全体会」
- ※同プログラムお申込のお客様には、会議プログラム等資料配付を行いません。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ

「横浜クリエイティブシティ国際会議2009」参加申込事務局
株式会社サイマル・インターナショナル内 担当：大宮司 | 久保田
104-0045 東京都中央区築地1-12-6 築地えとビル5階
Tel.03-3524-3133 | Fax.03-3524-3135 | e-mail:ccic_reception@simul.co.jp
本会議の参加受付業務は会議実行委員会から[株]サイマル・インターナショナルに委託しております。

横浜クリエイティブシティ国際会議2009 実行委員会事務局

231-8315 横浜市中区本町6-50-1
ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター内
Tel.045-641-6828 | e-mail : ccic2009@yaf.or.jp.

www.yaf.or.jp/creativecity/ccic/

Creative City International Conference 2009 in Yokohama

横浜クリエイティブシティ 国際会議2009

9 | 4 → 6



創造性が都市を変える
Creativity moves the City

メインプログラム

Main Program

2024年9月4日開催の「創造性が都市を変える」の様子

基調講演

創造性が都市を変える

9月4日〔金〕13:45～15:00 | 関内ホール〔大ホール〕

ピーター・ホール
Sir Peter Hall

ロンドン大学バートレット校教授 | イギリス

2024年9月4日開催の「創造性が都市を変える」の様子

パネル・ディスカッション 1 社会システムとその変革

9月4日〔金〕15:30～18:00 | 関内ホール〔大ホール〕

◎ **コーディネーター**——加藤 種男

〔公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 専務理事〕

2024年9月4日開催の「創造性が都市を変える」の様子

終わりの見えない経済の低迷、成長の時代から縮退の時代へと、都市をとりまく環境は大きく変化した。こうした時代における都市のビジョンを語る以前に社会システムそのものがどうあるべきか真剣に語る必要があるだろう。創造性のある社会を構築していくために必要とされる社会システムについて議論する。

◎ **パネリスト**——ピーター・ホール
基調講演に引き続き

モンテ・カセム
立命館アジア太平洋大学学長

青木 保
文化人類学者 | 前文化庁長官 | 青山学院大学大学院特任教授

伊東 豊雄
建築家 | (株)伊東豊雄建築設計事務所 代表取締役

2024年9月4日開催の「創造性が都市を変える」の様子

パネル・ディスカッション 2〔首長会議〕都市のみらいを語る

9月6日〔日〕10:00～12:00 | 関内ホール〔大ホール〕

◎ **コーディネーター**——北沢 猛〔東京大学大学院教授〕

2024年9月6日開催の「都市のみらいを語る」の様子

創造性に注目した都市づくりに取り組む国内外の首長が、非成長、非拡大の時代における都市のあり方、創造都市の今後の可能性などについて語る。

◎ **パネリスト****都市**——**フランクフルト市**
台北市
リヨン市
金沢市
新潟市
横浜市

2024年9月6日開催の「都市のみらいを語る」の様子

※パネリストについては調整中です。

講演者 | パネリスト

Panelists Profile

2024年9月4日開催の「創造性が都市を変える」の様子

2024年9月4日開催の「創造性が都市を変える」の様子



ピーター・ホール
Sir Peter Hall

「世界都市」概念の専門家 | イギリス | 1932年生まれ。ロンドン大学バートレット校〔The Bartlett School of Planning〕で教鞭をとっており、首都圏計画や「世界都市」の概念の専門家として知られ、世界都市に関する多数の著作がある。「文明における都市、文化、技術革新、都市秩序」の大家により、現代の創造都市研究を切り拓いた第一人者。「文化と産業の創造性」を基軸に人類の歴史を代表的な都市の歴史から分析している。

2024年9月4日開催の「創造性が都市を変える」の様子



モンテ・カセム
Monte Cassim

スリランカ出身の研究者。マレーシア経済学会終身会員。学校法人立命館副総長、立命館アジア太平洋大学学長

2024年9月4日開催の「創造性が都市を変える」の様子



青木 保

文化人類学者・青山学院大学大学院特任教授。東京大学教授、政策研究大学院大学教授、文化庁長官などを経て現職。

2024年9月4日開催の「創造性が都市を変える」の様子



伊東 豊雄

建築家。1965年東京大学工学部卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」など。日本建築学会賞、ヴェネツィア・ビエンナーレ「金獅子賞」、王立英国建築家協会 (RIBA) ロイヤルゴールドメダル他受賞。

分科会

Workgroup Sessions

2024年9月4日開催の「創造性が都市を変える」の様子

Ⅰ……………クリエイティビティと市民・アート

I-1 学びのカタチを創造する

◎ **コーディネーター**——松尾 子水樹〔NPO法人 STスポット横浜 理事〕

芸術が果たす教育的な意義を考えると、学校と芸術機関との官民パートナーシップの拡充などの政策は、いま世界的な潮流となって動きつつある。そのなかで、私たちは、地域や学校で、文化資源の創造的活用ができる社会をめざし、学ぶことが楽しく、豊かで、満足のいくものであるような「学び」の新しいカタチを探している。地域にある事物を、人々が学習活動や楽しみのために用いることができる資源に変換するための、創造性を持った仕組みづくりとはどのようなものなのか探り、いま求められている新しい「学び」のカタチを議論する。

I-2 アートイニシアティブの未来を語る—創造界隈事業の総括と展望

◎ **コーディネーター**——吉本 光宏〔創造都市横浜推進委員会 委員長 | (株)ニッセイ基礎研究所〕
横浜市の最初の創造都市政策として2006年にスタートした「創造界隈の形成」事業は、BankART 1929やZAIM、急な坂スタジオ、黄金町バザールなど、行政とアートNPO等とのパートナーシップによって、クリエイティブシティ・ヨコハマの核プロジェクト、アイコンとして大きな成果をあげている。こうした取組を、今後どのように持続・発展させていくのか、その成果はどのように市民に還元されるのか、国内外のオルタナティブなアートスペースの主宰者が集い、課題を共有しながら、アートイニシアティブの未来を語り、国際的なネットワークの構築と協働プロジェクトの立ち上げを目指す。

Ⅱ……………縮退の時代の都市戦略とクリエイティビティ

Ⅱ-1 都市の文化とイメージ戦略

◎ **コーディネーター**——白土 謙二〔(株)電通 執行役員〕

欧州文化首都の成功に見られるように、新しい発想や文化の力によって都市のイメージを変革し、交流人口の増加によって都市が再生される事例が増えつつある。縮退の時代、都市間競争の時代において、都市のイメージ戦略が見直され、また、欧米都市におけるシビックプライド醸成の取組にみられるように、都市のイメージ変革は都市への愛着、新たな市民意識の醸成にもつながっている。ここでは、世界の事例に学びつつ、ヨコハマを題材に都市のイメージ戦略について議論する。

Ⅱ-2 地域の産業とデザインの可能性

◎ **コーディネーター**——橘田 洋子〔デザインディレクター | Citrus主宰〕

産業構造の転換期において、創造的な産業は新たな都市経済のけん引役となりうるのか。デザインや技術革新がもたらす地域の産業イノベーションとは何か、必要とされる要件は何であるのか。創造性を原資とする産業の可能性とその未来について議論する。

Ⅲ……………クリエイティビティと都市ビジョン

Ⅲ-1 コミュニティ再生とクリエイティビティ

◎ **コーディネーター**——岡部 友彦〔コトラボ合同会社 代表〕

世界中で社会・地域問題に対し、社会起業家など、これまでとは異なった手法で活動が行われている。創造的な発想で問題に立ち向かう活動は、それ自体からも学ぶことは多いが、活動を支え、広げていく基盤や仕掛けを共有し、模索していくこともまた重要である。創造的な活動が自然と生まれてくる雰囲気や環境とはどのように仕掛けるのか。また、どのような組織体、ネットワークを創ることが必要なのかなど、各国での現状を踏まえ議論を行う。

Ⅲ-2 文化の空間戦略

◎ **コーディネーター**——鈴木 伸治〔横浜市立大学 ヨコハマ起業戦略コース 准教授〕

成長の時代から、縮退、成熟の時代への転換期を迎えつつある現在、新たな都市構造や産業構造に適應した都市ビジョンがもとめられている。近年の港湾都市のウォーターフロント開発で、これまでの港湾地区や工場地帯を土地利用転換し、文化施設や新たな産業空間の複合ゾーンと転換している例からもわかるように、新たな都市のビジョンには明確な文化の空間戦略が必要とされている。本分科会では、これまでとは大きく異なりつつある都市のビジョンにおける文化の空間戦略について議論する。

会議構成

Schedule

2024年9月4日開催の「創造性が都市を変える」の様子

日時	種別	内容	会場
9月4日〔金〕 会議1日目			
13:30～13:45	主催者挨拶		関内ホール(大ホール)
13:45～15:00	基調講演	ピーター・ホール 創造性が都市を変える	
15:30～18:00	パネルディスカッション 1	社会システムとその変革	
18:30～20:00	参加者交流会 〔参加費2,000円〕		ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター

9月5日〔土〕 会議2日目			
10:00～13:00	分科会 Session I	分科会 I-1 分科会 Ⅱ-1 分科会 Ⅲ-1	横浜市開港記念会館(講堂) ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター (1Fホール 3Fスペース)
14:30～17:30	分科会 Session Ⅱ	分科会 I-2 分科会 Ⅱ-2 分科会 Ⅲ-2	

9月6日〔日〕 会議3日目			
10:00～12:00	パネルディスカッション 2	都市のみらいを語る 〔首長会議〕	関内ホール(大ホール)
13:30～16:00	全体会	会議宣言 会議閉会	

※会議中は日→英の同時通訳を行います。

分科会パネリスト | コメンテーター

Workgroup Sessions Panelists | Commentator

I-1 学びのカタチを創造する	Ⅱ-1 都市の文化とイメージ戦略	Ⅲ-1 コミュニティ再生とクリエイティビティ
◎—— パネリスト リンディ・ジュベール Lindy Joubert ユネスコ学際的芸術研究所 所長 メルボルン大学建築学科 上級講師	◎—— パネリスト マイク・ローリンソン Mike Rawlinson City ID〔イギリス〕 デザインディレクター	◎—— パネリスト イ・ウネ Lee, Eun-Ae 韓国「共に働く財団」事務局長
マリアンナ・カジャンティ Marianna Kajantie ヘルシンキ市文化局 文化政策ディレクター	伊藤 香織 東京理科大学理工学部建築学科 准教授	ラッキー・チュヅトリ Lucky Chhetri 3 Sisters Adventure Trekking 〔ネパール〕エグゼクティブディレクター
石戸 奈々子 CANVAS 副理事長	榎本 元 株式会社読売広告社 都市生活研究所 所長	マット・ピーコック Matt Peacock Streetwise Opera〔イギリス〕 チーフエグゼクティブ
左京 泰明 シブヤ大学 学長	中川 憲造 デザインディレクター NDCグラフィックス 代表	トッド・ポーター Todd Porter TED×Tokyoソーシャルイノベーター
	箭内 道彦 クリエイティブディレクター 風とロック 代表	◎—— コメンテータ

I-2 アートイニシアティブの未来を語る	Ⅱ-2 地域の産業とデザインの可能性	Ⅲ-2 文化の空間戦略
◎—— パネリスト コリン・ゴ Colin Goh 旧国会議事堂チーフエグゼクティブ The Arts House ジェネラル マネジャー〔シンガポール〕	◎—— パネリスト ターニャ・ミュールハンス Tanja Mühlhans ベルリン市経済技術女性局文化経済 イニシアティブコーディネーター	◎—— パネリスト ケース・クリスチャンス Kees Christiaanse スイス連邦工科大学 チューリッヒ校〔ETH〕建築学科 教授
マーガレット・シュー Margaret Shiu バンブー・カーテン・スタジオ〔台北〕 ディレクター	キュー・リーメイ・ジュリア Leimei Julia Chiu 財団法人日本産業デザイン振興会理事 国際工業デザイン団体協議会〔Icsid〕理事 武蔵野美術大学教授	リン・チュン・チエ 林崇傑 Lin Chung Chieh 都市デザイナー 台北市都市再開発本部本部長
ジョセフィン・バーンズ Josephine BURNS BOPコンサルティング・ディレクター	大和田 順子 LBA〔ロバス・ビジネス・アライアンス〕 共同代表 NPO環境立国 理事	北沢 猛 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授
大谷 煥 NPO法人 DANCE BOX代表	名児耶 秀美 デザインプロデューサー アッシュコンセプト〔h concept〕代表	◎—— コメンテータ ジョンヒョン・リー 李政炯 Jung Hyung Lee 韓国中央大学 准教授
野田 恒雄 TRAVELERS PROJECT 〔紺屋2023など 企画・運営〕主宰	◎—— コメンテータ 佐々木 雅幸 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 教授	北山 恒 横浜国立大学大学院Y-GSA 〔Yokohama Graduate School of Architecture〕教授
+ 創造界隈 各代表	近澤 弘明 創造都市横浜企業ネットワーク代表 株式会社近沢レース店 代表取締役社長	瀧口 範子 シリコンバレー在住。 フリーランスの編集者・ジャーナリスト

※スピーカーは変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。